

委員会視察成果報告書

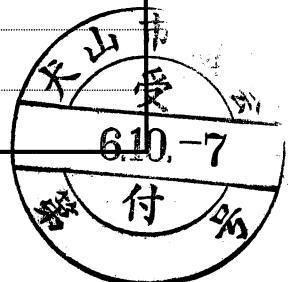
令和6年10月7日

犬山市議会議長
柴田ひろゆき様

議員名 柴山一生

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	令和6年10月1日(火) ～ 令和6年10月2日(水) (1 泊 2 日)
(2) 視 察 地	呉市、太宰府市
(3) 視察の種類	常任・特別 委員会 (建設経済委員会)
(4) 視 察 成 果 (視察地ごとに記入)	別紙参照
(5) 犬 山 市 に 対する提言	別紙参照



令和6年10月7日

犬山市議会議長
柴田ひろゆき様

建設経済委員会 2024 視察報告

日時：令和6年10月1日～2日

初日： 呉市

視察項目：空き家対策

二日目：大宰府

視察項目：歴史と文化の環境税（駐車場税）

視察内容概要

初日 呉：中田副議長の話で、終戦前は海軍工廠があったために、人口が40万に膨れ上がった。その時に、平地の少ないすり鉢状の呉市民は住宅地を求めて急傾斜地に住宅を造成していった。

しかしながら、戦後一気に15万人程度に縮小し、その後人口減が止まって人口増に転換、現在では20万5千人となったが、高齢化と共に急傾斜地の住宅は空き家となっていつて、現在マンションアパート含め約2万戸の空き家がある。戸建てだけだと5106戸で空き家率22.6%。全国平均は13.6%

まさにあの手この手で空き家を減らそうと行政はメニューを考えている。移住者には、50万円から100万円の助成金、家財道具の処分費用に上限10万円、危険建物除去推進事業で30万円、移住お試し住宅の貸し出しと。

移住実績は毎年50件前後。

お試し住宅の貸し出しは、市営住宅の一戸を貸し出している。6泊7日あるいは13泊14日でそれぞれ光熱水費が其々13000円、26000円かかる。また、この物件までは、橋を二つ渡って、呉中心部から車で3、40分かかり、しかもその一つは片道730円の通行料を払わねばならない。島民は3割引きだそう。だから週5日呉中心部へ通うとすると、通行料だけで月に3万円以上かかる。ただし、2階からは瀬戸内海の一部が眺められるのが一つの魅力か。

二日目 大宰府： 歴史と文化の環境税（駐車場税）を学んだ。50円乗用車 100円マイクロバス 300円大型バス 500円。

年間800万人の観光客。コロナ前は約8000万円の観光税。一人10円か。この目的税は、約8割程度が20前後の主事業に充当されている。令和4年度であれば、環境税歳

入5600万円余りのうち、史跡智保護管理事業（草刈り、清掃、トイレ維持管理等）1000万円程度、駐車場待ち時間抑制政策として、満空情報の発信に500万円程度、街路樹の整備に600万円程度、年末年始などに臨時駐車場を公共施設に設置管理する事業に約440万円。その他特徴的な、事業としては、史跡ライトアップに130万円あまり、仮設トイレに150万円程度。目的税がそのほぼ本来の趣旨にあった使われ方をしていると思われた。

この施策を始めたのは、2003年で既に20年以上たっているのに、定着している税であるが、当然最初は事業者には抵抗があったようだ。また当然ながら現在では定着している。

当日はあいにくの雨で、この太宰府天満宮参道周辺での自動車の混雑状況はあまりわからないが、その日は、全く渋滞などは近辺では見られなかった。

犬山への提言

空き家対策：正直、空き家がアパートマンション含め2万户、全体の約22パーセント。犬山市は11.9%。移住者に対する、50万円から100万円の助成金で、令和5年で3千万円使って、52世帯は、それなりに有効な施策かとも思える。お試し移住事業は、物件自身の間取りや仕様、そして位置など重要で、なかなか、これで移住者を獲得するのは難しそうだった。海が見える場所もこの市営住宅からは限定的で、正直ここに住みたいとは思わなかった。ただ、ここに1、2週間住んで、呉の他の空き家にすみかを求めるのは可能だが、まあそこは不動産屋さんがやった方が良くと思うので犬山市はこの施策を使わない方が良くだろう。

駐車場税：犬山もやるべきだろう。ただし、駐車場事業者や自動車利用者がその税の恩恵を感じられるような事業を必ずうっていくべきだろう。